

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	川崎市	代表者名	福田 紀彦
担当者部署	総務企画局	連絡先電話番号	044-200-0062
担当者役職	担当係長	担当者氏名	宇都宮 健浩
		連絡先E-mail	
住所	210-8577 神奈川県川崎市川崎区宮本町1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三木 浩平
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	依頼した御講義について、資料・講義ともに内容を平易に言い換えてポイントをまとめていただくなど、わかりやすさに多大な御配慮をいただきました。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年7月25日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時15分	10時05分	
				活動時間（分）	50
3-2. 派遣場所	会場名	川崎市役所第3庁舎	最寄駅	川崎駅	
	所在地	神奈川県川崎市川崎区東田町5-4	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市長、副市長、局長級職員	36人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DXに関する知識や最新の社会の動きについて、事業を推進するリーダーである局長級職員に、認識を浸透させることが難しかった。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DXの推進に向けて、局長級職員がDXに関する知識や最新の社会の動きについて学習し、幹部層に求められる意識、知識等を習得する。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	DXに関する最新の知識（アナログ規制見直しやデータ活用等）と、それらをどのように市民サービス向上やBPRにつなげていくか、についての講義の実施。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	局長級職員が、DXに関する最新の知識を習得し、今後のDX推進に向けて推進体制の強化を図ることができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 局長級職員の知識習得、意識涵養を図ることができた。	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講義後の意見交換の状況により成果を判別した。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	引き続き、適宜、局長級職員のDXに関する知識等をアップデートし、庁内のDX推進に対してリーダーシップを発揮し続けることを目指す。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

